

最近の活動報告

植林・交流会と共に協力プロジェクトを推進

2018年度の MJET 植林ツアーが8月18日から27日まで開催されました。植林には MJET 会員4名に加えて、学生2名、社会人2名を含む8名が参加して、East Phwar Saw 村で463本の苗木を植林しました。また、Thant Sin Kyae 村では村人が376本の改植を行いました。今回の植林ツアーでは以下のような特徴がありました。

● 卒論のテーマを求める2名の学生が参加



今回は、茨城大学からの2名の学生が参加して、タンシンチェ村とインダイン村において質問票を回収すると共に、村人とのインタビューを行いました。一人のテーマは「近代消費財が村々に流入によって、従来の善循環型社会の生活環境がどのように変化しているか」について調査しました。もう一人は「村に上水道が付設されたことによって、村人、特に女性の生活がどのように変化しているか」について調査を行いました。

● East Phwar Saw 村で463本を植林

East Phwar Saw 村では、2010年と2011年に計2508本を植林していますが、今回、新しい土地が提示され、463本を植林しました。今度の土地にはすべてチークを植林しました。



● エキサイトした Chaukkan 村と Thant Sin Kyae 村での運動会

Chaukkan 村では、運動会は三度目のことでの、今回は全校生徒280名が参加しました。全校生徒は紅白二つのチームに分かれて、玉入れの後に続いてサイクロンの目、デカパンリレー、キャタピラー競争、電車リレー、ムカデ競争の6種目に熱狂的に参加し、「がんばれー」、「がんばれー」の声援が飛び、興奮し、熱中しました。紅白の鉢巻きが敵味方を区別するので、自分のチームが勝つように、必死で応援していました



Thant Sin Kyae 村では小学生と幼稚園の生徒70名が参加して2種目の運動会（玉入れとキャタピラー競争）を行いました。小学校は4年生までしかいないので、簡単な競技種目を選びました。学年別に参加種目を分けて、皆が整列するのが大変でした。先生方も初めてのことでの生徒を整列させるのが一苦労でした。



● ヤンゴンの僧院での交流会

今年の交流会は多彩でした。僧院の子供達の歌と踊りに続いて、MJET の手品やだるま落としの競技。その後日本語クラスの生徒達5人の日本語スピーチ、そして最後にだるま落とし、デカパンリレーとキャタピラー競争を行いました。日本語クラスの生徒達40名が参加して、熱戦を競いました。



● 協力プロジェクトを推進

植林ツアーオの他に3つのプロジェクトを継続しました。

◆ゴミ収集・処理プロジェクト（インダイン村の美化キャンペーン）

去る3月に、Nyaung U の町長や NGO を招いて、ワークショップを行った時に、参加者がゴミ収集・処理のインダインモデル実施を約束しました。今回はその進捗状況をお互いに報告しある報告会を開催し、優れた進捗状況にある村を参加者が選びました。これを称えて、MJET は時計の記念品を贈呈しました。



◆ 小学校の環境教育を実習

タンシンチェ村の小学校4年生とピョーセイピン村小学校3年生に、理科の教科書に沿った理科の実験に必要な試験器具を寄贈して、以下のような「環境教育」の実習を行いました。子供達の反応は大変良く、先生もこの双方向教育に大変興味を持ちました。

Grade 3 の生徒

☆モジュール：水の性質を理解する

実験 1：水は温度によって形が変わる

実験 2：水は形の違った容器に入れても、その量は変わらない。

実験 3：水は物を溶かす性質がある。（角砂糖、塩、ケチャップを溶かす実験）



Grade 4 の生徒

実験 1 光は明るい。

実験 2 光は直進し、はね返すことができる。

実験 3 光は熱を持っている。

実験 4 光は色を持っている。



◆ ネリカ米の試験栽培

Thant Sin Kyae 村では、2015年度にネリカ米の N3を 11 農家が自分の畑 (5mx 5 m) に試験栽培しましたが、播種の時期が遅かったため、枯れてしましました。そこで、2016年度は、昨年参加した1農家が N3の種子を自分で7月末と8月初めに播種しましたが、何故か実がなりませんでした。そこで2017年度は新しい種を取得して、水文調査を平行して行うようにしましたが、殆どがモミの中の実が結実しない「不稔」でした。2018年度も同様の試験栽培を行い、7月の降雨時に種まきましたが、その後数週間雨が降らなかつたため、枯死してしまい、試験栽培はうまく行きませんでした。4年間の試験栽培は降雨の不規則性のため、うまくいきませんでした。